

平成28年度 行政評価事業のまとめ

	評価対象事業 及び所管課等	評価の視点	担当課評価	プラモニ意見	評価委員会 評価
1	生ごみ処理容器等購入補助金 【環境政策課】 平成17年度～ 平成27事業費：299千円	本市が抱える喫緊の課題である、循環型社会の形成や、燃えるごみの処理体系の整備などに向け、燃えるごみの減量化は非常に重要なものとなっている。生ごみ処理機器の利用は燃えるごみの減量化に大いに資するものであり、より一層の普及を図るべきであると考え。そこで、補助金額の増額等、制度の拡充を図ることについて意見を求める。	拡充して実施	現行 : 3 拡充 : 5 縮小 : 2 終了 : 0 見直し : 0	<b>拡充</b> 豊かな自然環境を次代に引き継ぐには、市民・事業者・行政すべてが意識を持って取り組む必要がある。 本事業は、可燃ごみの減量化のみならず、市民の意識向上に資するものであり、次の点に留意し拡充して実施されたい。 ・単に予算の拡大だけを意味するものではなく、事業内容を再検証する中で、容器・処理機ごとの上限設定等も検討すること。 ・容器・処理機の種類や効果をはじめ、本事業のPRを充実させ、認知度を向上させること。 ・ゴミの減量化をはじめ、環境問題全体への意識醸成を行うため、若年から高齢者まで各世代のひとりひとりが「できること」のPRを行うこと。
2	庄原市新婚世帯定住促進補助金 【いちばんづくり課】 H25年度～ H27事業費：4,295千円	若年層の定住支援に一時的にはなっているが、長期な定住を考えると、より定住に結びつく他の事業への移行を模索すべきと考え事業終了にとすることについての意見を求める。	終了	現行 : 2 拡充 : 1 縮小 : 1 終了 : 3 見直し : 2	<b>終了</b> アンケート結果より事業効果が少ないこと、対象地域・年齢に偏りがあることから、本事業は終了とするが、定住対策は市にとって非常に重要であるため、引き続き推進の上、有効な施策を打ち出していくよう取り組みされたい。なお、多様化する婚姻事情等も考慮しつつ、国県の補助をうまく活用していくこと。
3	農地利用集積促進事業補助金 【農業振興課】 H17年度～ H27事業費：7,683千円	賃料が低額となる傾向にあるが、今後も担い手に継続して耕作をしてもらう必要があるため、現行どおりの補助額及び更新も交付対象とすることについて意見を求める。また、現在は耕作面積が2ha以上の者を対象としているが、この面積要件についてのご意見をいただきたい。	現行どおり	現行 : 5 拡充 : 3 縮小 : 1 終了 : 0 見直し : 0	<b>現行どおり</b> 農地集積がより促進されるよう、引き続き認定農業者等に補助を行うこととし、現行どおり実施されたい。 ただし、担い手のモチベーションが維持できること、耕作放棄地の更なる減に繋がるような取り組みとすること。また、面積要件は「2haより上げる場合」「2haより下げる場合」の両側面から、補助金がより目的に沿ったものとなるよう再検討を行うこと。
4	庄原市シティプロモーション 【行政管理課】 H26年度～ H27事業費：1,260千円	庄原市からの情報発信について、そのPR効果を数値として表すことが難しいが、ホームページのアクセス件数や公式Facebookの記事に対する「ええね！」の獲得件数が一定の評価の視点となっている。また、PRロゴマークキャラクターの活用や関連グッズの製作により、認知度向上と拡散により市のPRに効果的で必要性の高い事業と考えており、事業の拡充について意見を求めます。	拡充して実施	現行 : 2 拡充 : 5 縮小 : 2 終了 : 0 見直し : 0	<b>拡充</b> 庄原市の知名度向上のため重要な取り組みであり、インパクトのある情報発信を行うよう、拡充し実施されたい。 ・ホームページの情報を充実するとともに情報を容易に検索できるよう工夫すること。 ・Facebookページの活用は有効と考える。また、その他のSNSやメール配信などの手法も検討すること。 ・新聞等インターネット以外のメディアも積極的に活用すること。 ・市外だけでなく市民への情報発信も充実すること。

平成28年度 行政評価事業のまとめ

評価対象事業 及び所管課等	評価の視点	担当課評価	プラモニ意見	評価委員会 評価
<p>5 庄原市高齢者世帯雪下ろし支援補助金 【高齢者福祉課】 H23年度～ H27事業費：317千円</p>	<p>人口の減少、高齢化の進展に伴い、高齢者のみの世帯が増加し、降雪期には高齢者が自ら屋根に上り、雪下ろしなどの除雪を行わざるを得ない状況が生じている。本事業は、降雪期における高齢者の安全・安心を確保するために必要性が高いと考えられるため、現行制度をこれまでどおり継続することについて意見を求める。</p>	<p>現行どおり</p>	<p>現行 : 5 拡充 : 3 縮小 : 0 終了 : 0 見直し : 0</p>	<p><b>現行どおり</b> 降雪量の多い当市では、冬季の雪下しが必要であり、引き続き、高齢者の降雪期における在宅での安心な生活を確保するため、現行どおり実施されたい。ただし、限度額等の拡充検討を状況・年度に合わせて考慮することを付帯事項とする。</p>
<p>6 保育所児童送迎業務 【児童福祉課】 H17年度～ H27年度実績：36,379千円</p>	<p>保育所統廃合に伴い、実施している保育所入所児童の送迎業務について、次のとおり事業の見直しを行うことについて意見を求める。①終期を設定②実施区域の見直し③スクールバスや生活交通バスの活用。</p>	<p>事業見直し</p>	<p>現行 : 5 拡充 : 0 縮小 : 1 終了 : 1 見直し : 2</p>	<p><b>【第6回委員会で総括意見の取りまとめ】 その他の見直し</b> 子育て支援策として、必要な事業であり、継続して実施すべきと考える。しかしながら、担当課評価のとおり課題も多いことから、次の事項に留意し、見直しを検討されたい。 ①不均衡は解消すべきと考える。 ・終期の設定、区域見直し、自己負担の導入について検討すること ・各地域の実施経緯や実情を把握し、地域や保護者の理解を得られるよう十分配慮すること。 ・保護者、児童の不利益とならないよう配慮すること。 ②児童送迎の枠組みを超えた、総合的な交通体系、生活支援対策を検討すること。 ・効率的な事業体系構築により、事業費の削減に努められたい。 ・法令及び安全面に留意しつつ、生活交通、高齢者福祉送迎サービス等への混乗等を模索すること。</p>
<p>7 地域マネージャー活用事業交付金 【企画振興課】 H23年度～ H27年度実績：13,845千円</p>	<p>本要綱が今年度末で終期を迎えることから、現在国の集落支援員制度や他の自治体の取り組み状況も見ながら、新たな制度設計を行っている。</p>	<p>事業のあり方を検討</p>	<p>現行 : 0 拡充 : 1 縮小 : 2 終了 : 1 見直し : 3</p>	<p><b>【第6回委員会で総括意見の取りまとめ】 その他の見直し</b> 実績・成果を挙げている地域があること、地域の人が自ら専門性を持って取り組む「市民が主役のまちづくり」をさらに進める事業であることから、今後も充実させていく必要がある事業と考える。次の点に留意し、見直しを検討されたい。 ・各地域の事業内容を積極的にPRし、市民との情報共有を図る。 ・地域マネージャーへの各種研修機会の付与、活動費の増額など、待遇面の検討をすること。 ・各自治振興区において、地域マネージャーが活躍し、次世代につながる地域となるよう努められたい。</p>
<p>8 ひろしまの森づくり事業(環境貢献林補助金) 【林業振興課】 H19年度～ H27年度実績：102,717千円</p>	<p>ひろしまの森づくり事業が第2期最終年(5ヵ年を1期)を迎え、事業については財源である県民税の状況にもよるが、市域の84%を占める森林の整備を継続する必要があると考えるため、現行どおりとすることについて意見を求める。</p>	<p>現行どおり</p>	<p>現行 : 2 拡充 : 2 縮小 : 1 終了 : 0 見直し : 1</p>	<p><b>【第6回委員会で総括意見の取りまとめ】 現行どおり</b> 水源かん養、土砂流出防止など、県内の森の公益的機能を守るため、県民税を財源として市が元気の森づくりを行う取り組みは重要である。今後も継続した取り組みとするためには、森づくりの必要性を市民・県民が理解することが課題と考える。写真等で視覚に訴えるなど、PR方法を工夫し、森林の整備普及に向け取り組まれたい。</p>